

# 平面図

S=1:250

全体施工延長 L=117.7m

2工区 (令和5年度施工)  
33.6m

23.4m

1工区 (令和4年度施工)  
20.0m

3工区  
40.7m

NO. 0

NO. 1+13.6

NO. 2+17.0

NO. 3+17.0

EP

重圧管 (D300) L=6.6m

ガードレール (Gr-C-2B) L=38.0m

プレキャスト防護柵基礎 L=38.0m

ブロック積擁壁 (控え35cm, 裏コン10cm) A=87.8m<sup>2</sup>  
天端コンクリート L=37.7m  
ブロック積基礎 BW3 L=33.9m

4号端止工

帯コンクリート  
N=1箇所

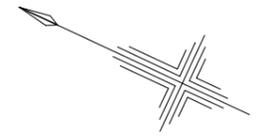
護床ブロック (平型1t用) N=30個

T西幹50  
KBM. 2  
H=3.888

護床ブロック (過年度工事完成)

護床ブロック (R3工事完成)

河床盛土 (割詰石 150mm) V=45.0m<sup>3</sup>



凡例	
ブロック積擁壁	
護床ブロック	
河床盛土	

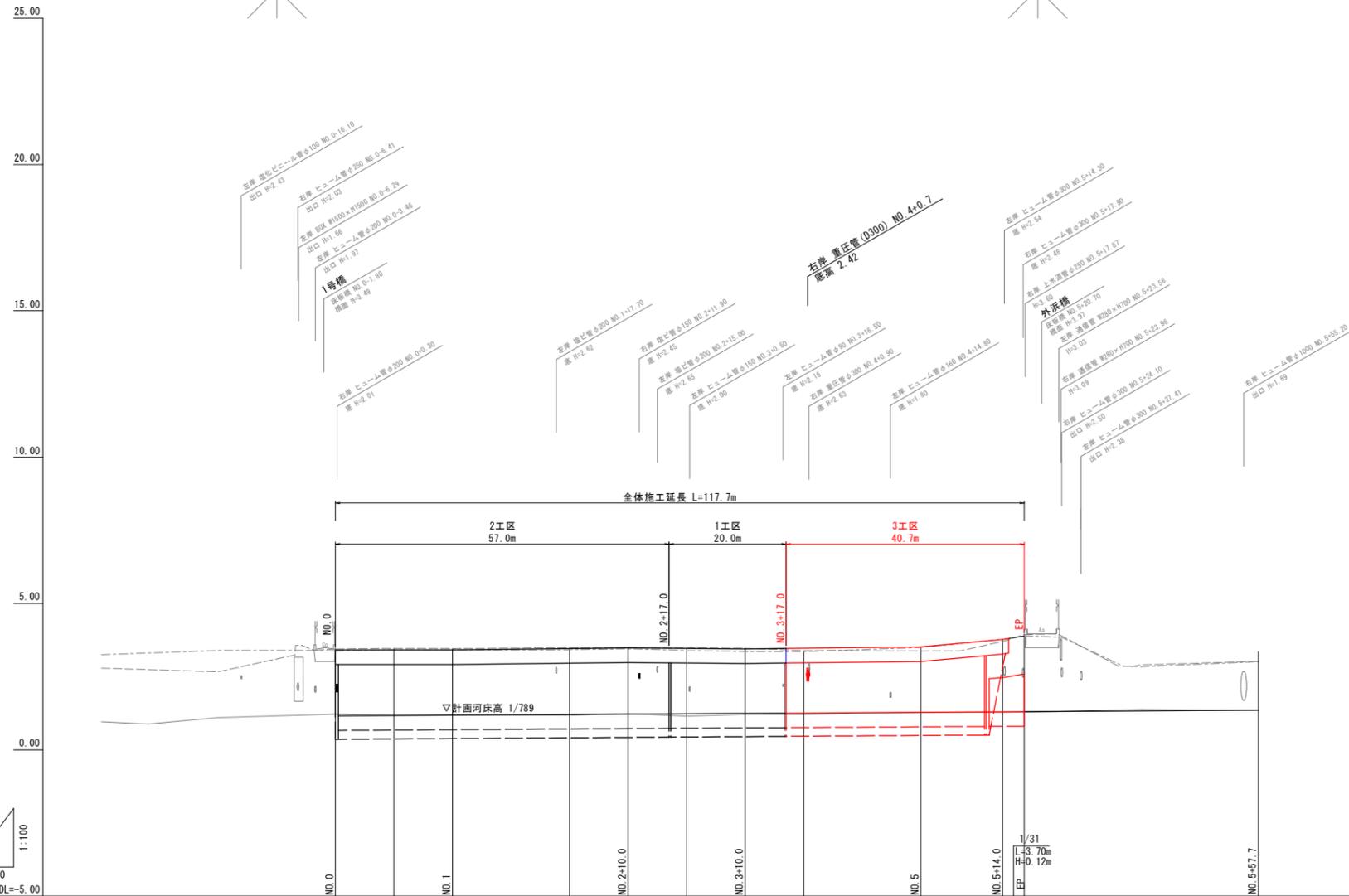
図面番号	第 5 枚内 1 号
図面名称	準用河川中間川改良工事(上流工区) 平面図
縮尺	1 : 250
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

※現道(市道)部には下水管が埋設しており、施工の際は十分注意すること。

# 縦断面図

V=1:100  
H=1:500

凡例	
河床	——
左岸	- - - -
右岸	· · · ·



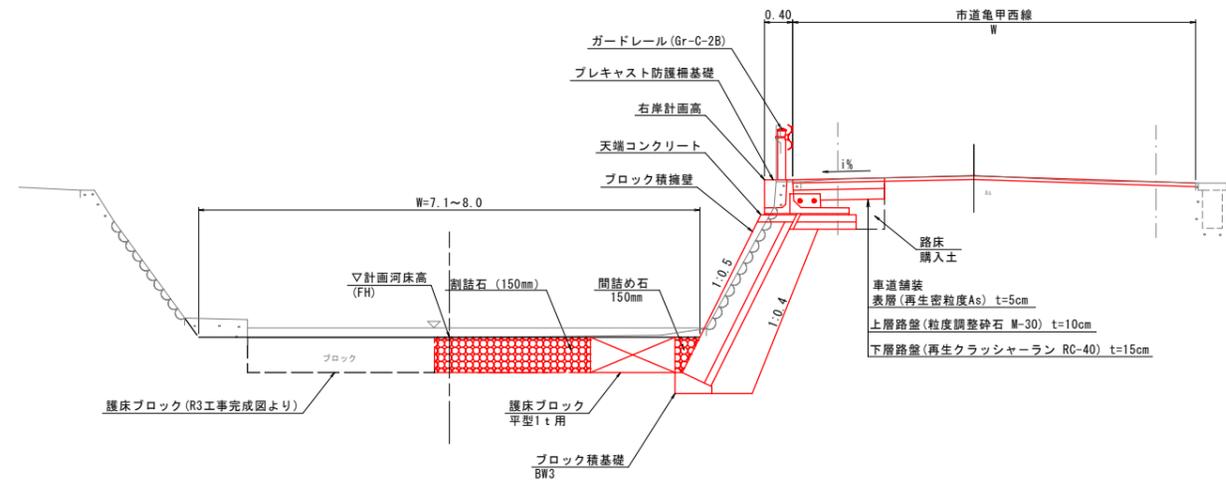
計画勾配	築堤	3.42	3.42	3.48	3.45	3.52	3.77	3.89				
	高水											
	河床	1.16						1.36				
現河床勾配												
計画	計画高	3.42	3.42	3.42	3.46	3.48	3.47	3.45	3.47	3.52	3.77	3.89
	高水位											
	河床高	1.16	1.17	1.19	1.21	1.22	1.24	1.25	1.26	1.29	1.36	1.31
地盤高	右岸	3.37	3.42	3.42	3.42	3.45	3.39	3.36	3.36	3.49	3.77	3.89
	左岸	3.44	3.47	3.46	3.48	3.48	3.48	3.47	3.39	3.37	3.70	3.93
最深河床高		1.22	1.19	1.20	1.18	1.24	1.15	1.21	1.21	1.28	1.28	1.29
追加距離		0.000	10.000	20.000	40.000	50.000	60.000	70.000	80.000	100.000	114.000	117.700
単距離		0.000	10.000	10.000	20.000	10.000	10.000	10.000	10.000	20.000	14.000	3.700
測点名		NO.0	+10.0	NO.1	NO.2	+10.0	NO.3	+10.0	NO.4	NO.5	+14.0	EP

図面番号	第 5 枚内 2 号
図面名称	準用河川中間川改良工事(上流工区) 縦断面図
縮尺	V=1:100 H=1:500
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

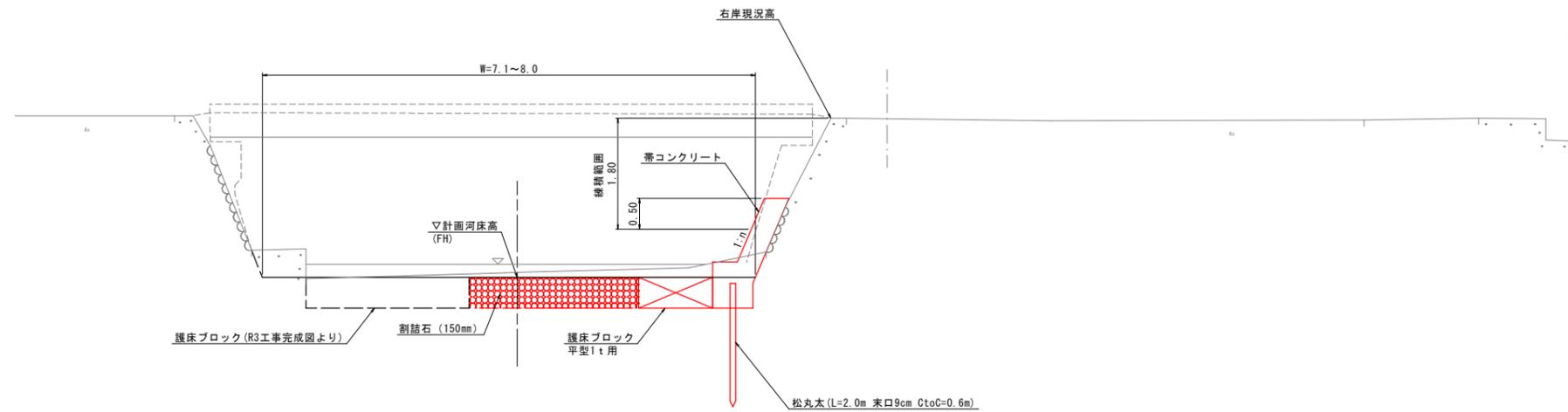
# 標準断面図

S=1:50

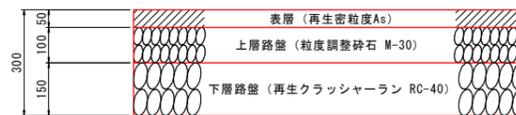
## NO. 5付近



## EP付近



## 車道舗装 S=1:10



設計CBR12%以上

※現道(市道)部には下水管が埋設しており、施工の際は十分注意すること。

図面番号	第 5 枚内 3 号
図面名称	準用河川中間川改良工事(上流工区) 標準断面図
縮尺	1:50
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

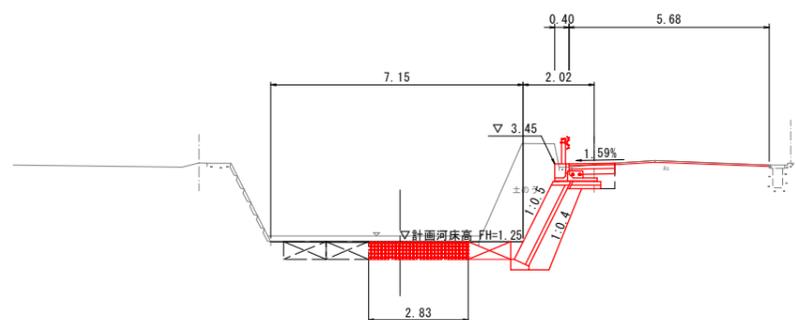
# 横断面図

S=1:100

D=10,000

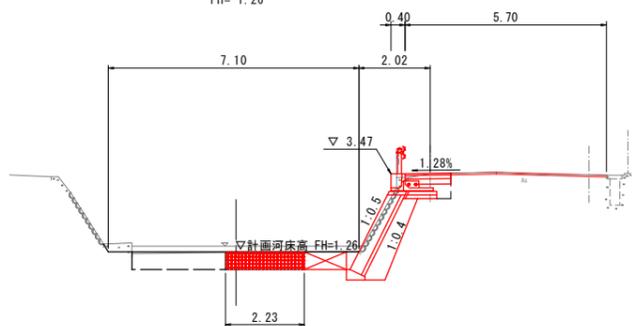
EP付近

NO. 3+17.0  
GH= 1.21  
FH= 1.25



DL=-5.00

NO. 4  
GH= 1.24  
FH= 1.26



DL=-5.00

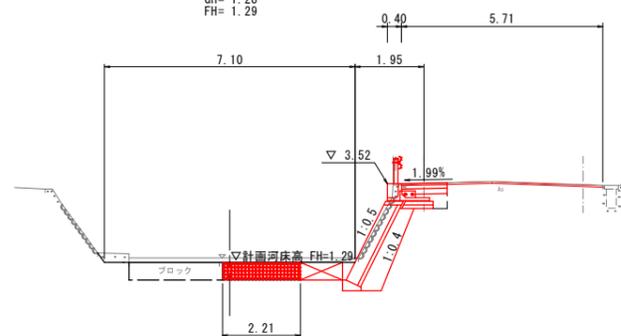
E1=1.2  
E2=3.5  
E3=0.5  
E4=0.2  
b1=2.2  
b2=0.3  
b3=0.1  
b4=0.2  
St=1.1

D=10,000

D=20,000

D=14,000

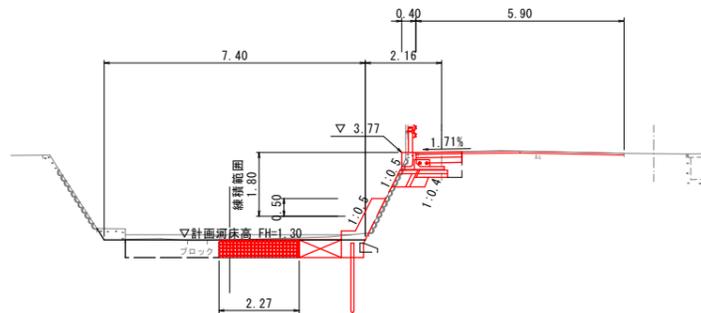
NO. 5  
GH= 1.28  
FH= 1.29



DL=-5.00

E1=1.2  
E2=3.4  
E3=0.6  
E4=0.2  
b1=2.1  
b2=0.3  
b3=0.1  
b4=0.2  
St=1.1

NO. 5+14.0  
GH= 1.30  
FH= 1.30

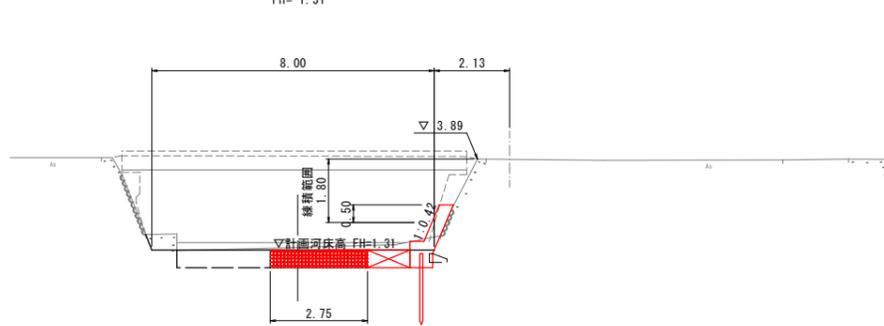


DL=-5.00

E1=0.5  
E2=0.0  
E3=0.0  
E4=0.6  
b1=0.1  
b2=0.0  
b3=0.0  
b4=0.3  
St=0.4

D=3,700

EP  
GH= 1.39  
FH= 1.31



DL=-5.00

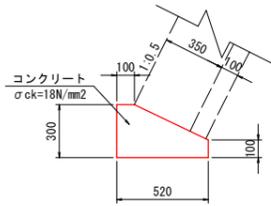
E1	床層A(護岸工 土砂)
E2	床層B(護岸工 土砂)
E3	床層C(護岸工 土砂)
E4	床層(防護欄工 土砂)
b1	埋戻(護岸工 土砂)
b2	埋戻(護岸工 土砂)
b3	埋戻(間詰め石)
b4	路床(防護欄工 購入土)
St	既設石積取壊し
L	盛土法面
SL	ブロック積

図面番号	第 5 枚内 4 号
図面名称	準用河川中間川改良工事(上流工区)横断面図
縮尺	1:100
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

※現道(市道)部には下水管が埋設しており、施工の際は十分注意すること。

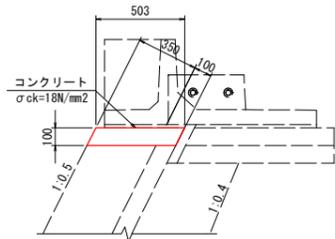
# 構造図

ブロック積基礎 S=1:20  
BW3



名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	小構造物標準設計図書より	1.14
型枠	小型構造物	m2	"	4.0

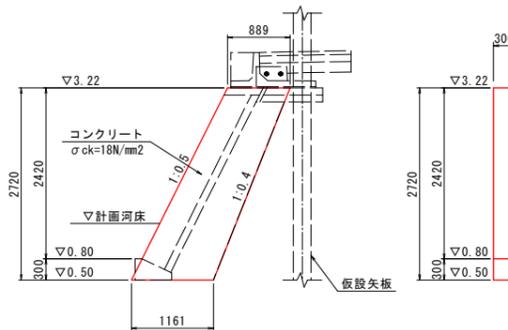
天端コンクリート S=1:20



名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.503 × 0.10 × 10.00	0.50
型枠	小型構造物	m2	0.10 × 1.1180 × 10.00 × 2	2.2

4号端止工 S=1:50

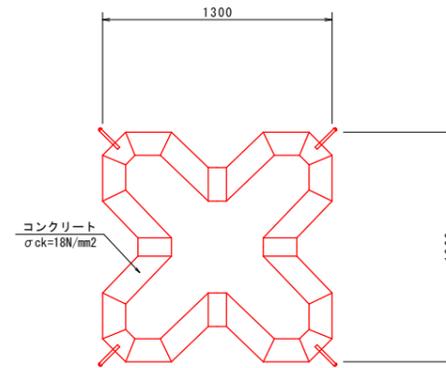
正面図 断面図



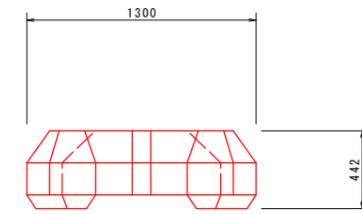
名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1/2 × (0.889 + 1.161) × 2.72 × 0.30	0.84
型枠	小型構造物	m2	1/2 × (0.889 + 1.161) × 2.72 × 2 + 2.72 × 1.118 × 0.30	6.5

護床ブロック (平型1t用) S=1:20

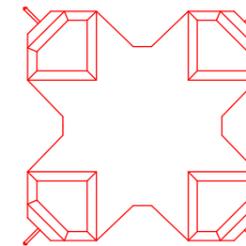
平面図 (上面)



側面図

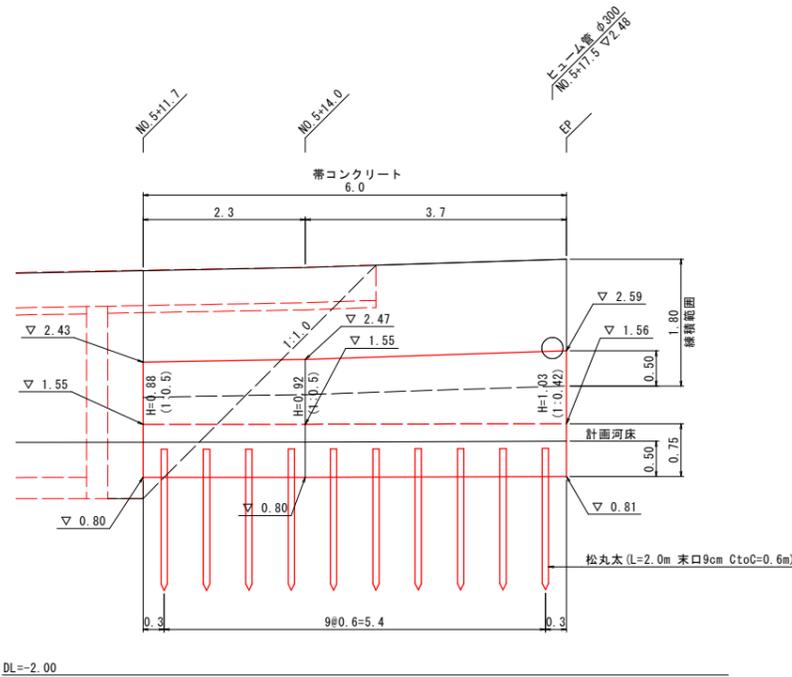


平面図 (下面)

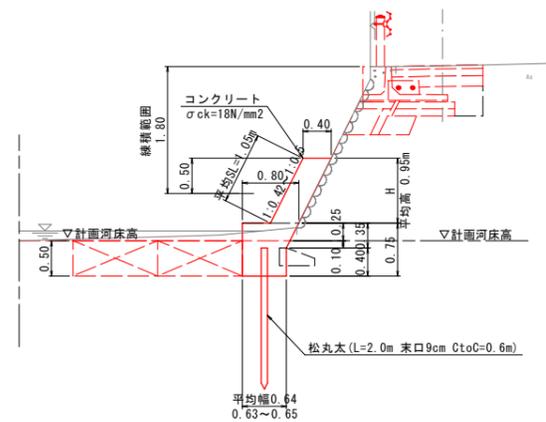


名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.473 × 10	4.73
型枠	異形型枠	m2	3.80 × 10	38.0
鉄筋	D16	t	1.33 × 4 × 10 / 1000	0.053
連結金具	根固めブロック用	個		18

帯コンクリート展開図 S=1:50

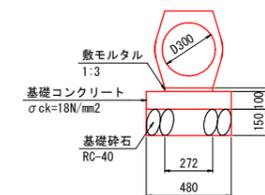


帯コンクリート S=1:50



名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	[0.40 × 0.95 + 1/2 × (0.80 + 0.64) × 0.35 + 0.64 × 0.40] × 6.00	5.33
型枠	小型構造物	m2	[0.40 × 0.95 + 1/2 × (0.80 + 0.64) × 0.35 + 0.64 × 0.40] × 2 + (1.05 + 0.75) × 6.00	12.6
松丸太	L=2.0m 末口9cm	本		10

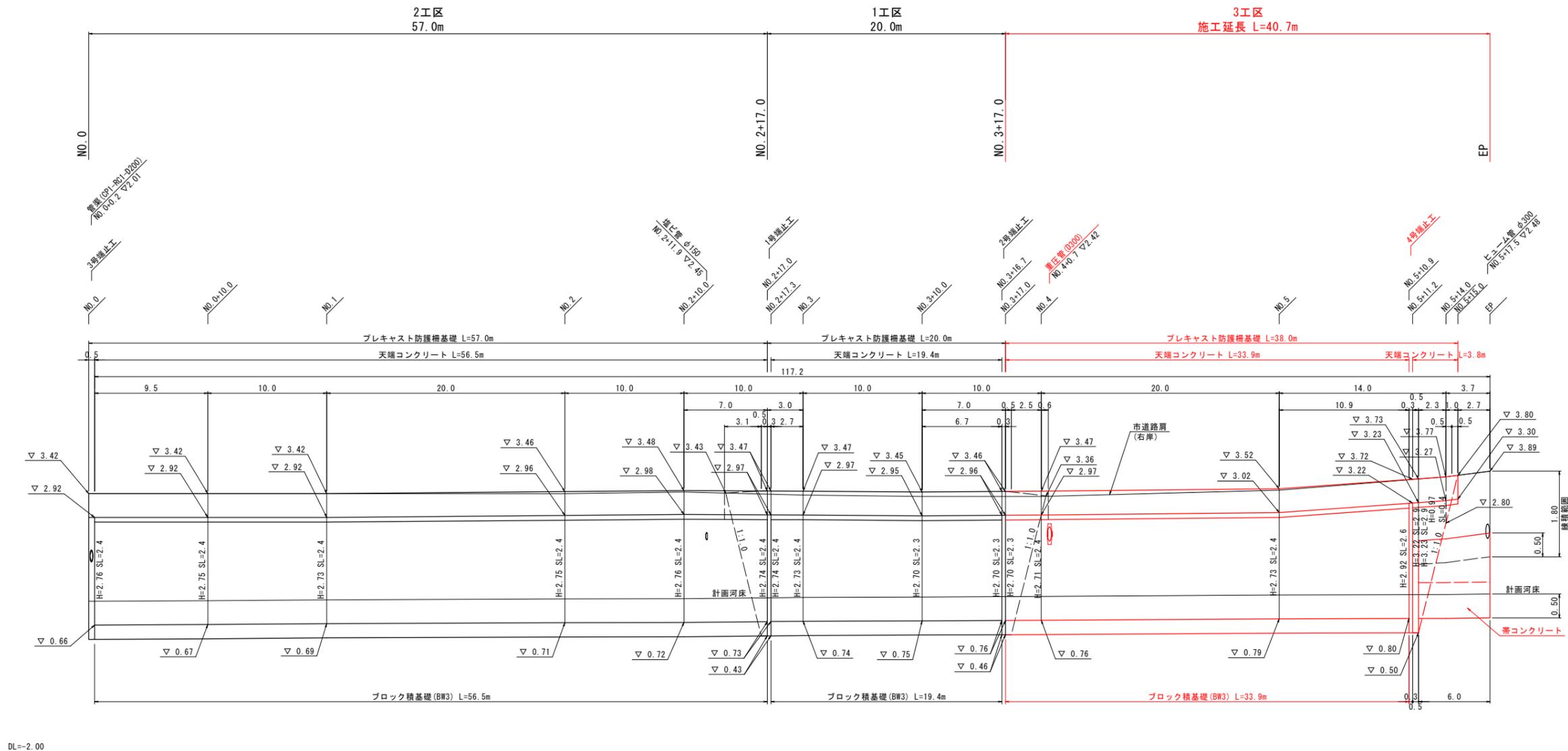
重圧管 D300 S=1:20



名称	規格	単位	計算式	数量
重圧管	D300 1種, L=2.0m	個	10.00 ÷ 2.00	5.0
敷モルタル	1:3	m3	0.272 × 0.02 × 10.00	0.054
基礎コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.480 × 0.10 × 10.00	0.48
型枠	小型構造物	m2	0.10 × 10.00 × 2	2.0
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	0.480 × 10.00	4.8

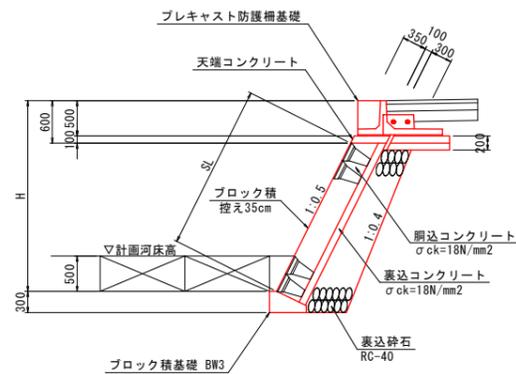
# ブロック積擁壁展開図

NO. 0~EP (右岸側) V=1:50  
H=1:200

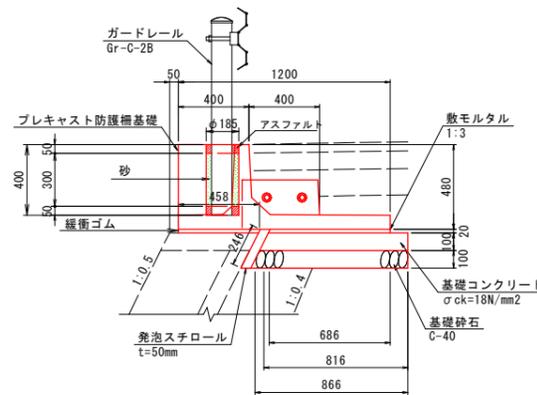


DL=-2.00

標準断面図 S=1:50



プレキャスト防護柵基礎 S=1:20



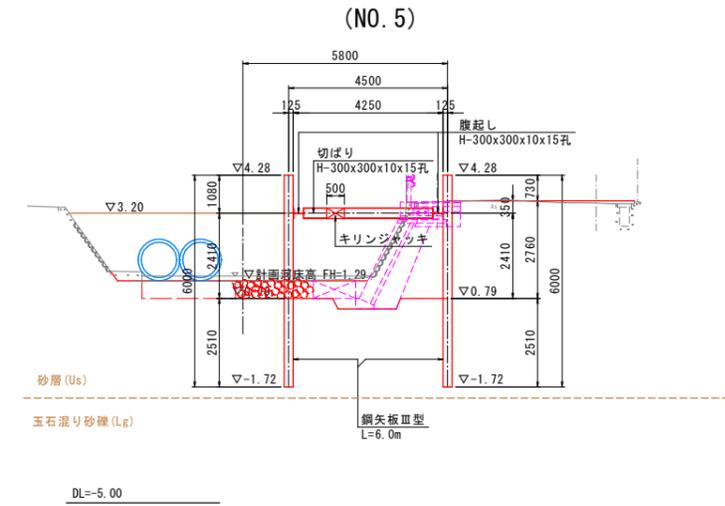
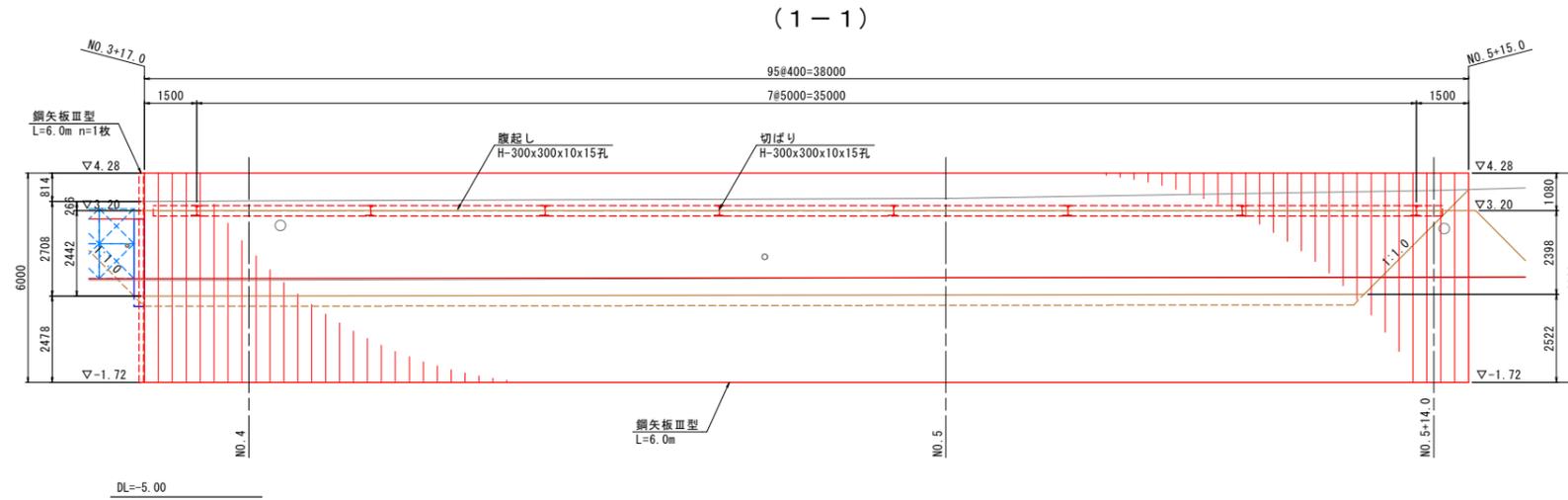
※新設ガードレールの設置は、2工区および3工区施工時の施工ヤード設置時にガードレールを撤去する必要がある。

プレキャスト防護柵基礎 10m当り 数量表				
名称	規格	計算式	数量	
プレキャスト防護柵基礎	BC種 H400×B1200×L2000 参考重量743kg	個	10.00÷2.00	5.0
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.686×0.02×10.00	0.137
基礎コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.816×0.10×10.00	0.82
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	0.10×10.00	1.0
基礎砕石	C-40, t=10cm	m <sup>2</sup>	0.866×10.00	8.7
緩衝ゴム	t=20mm	m <sup>2</sup>	0.458×10.00	4.6
発泡スチロール	t=50mm	m <sup>2</sup>	0.246×10.00	2.5

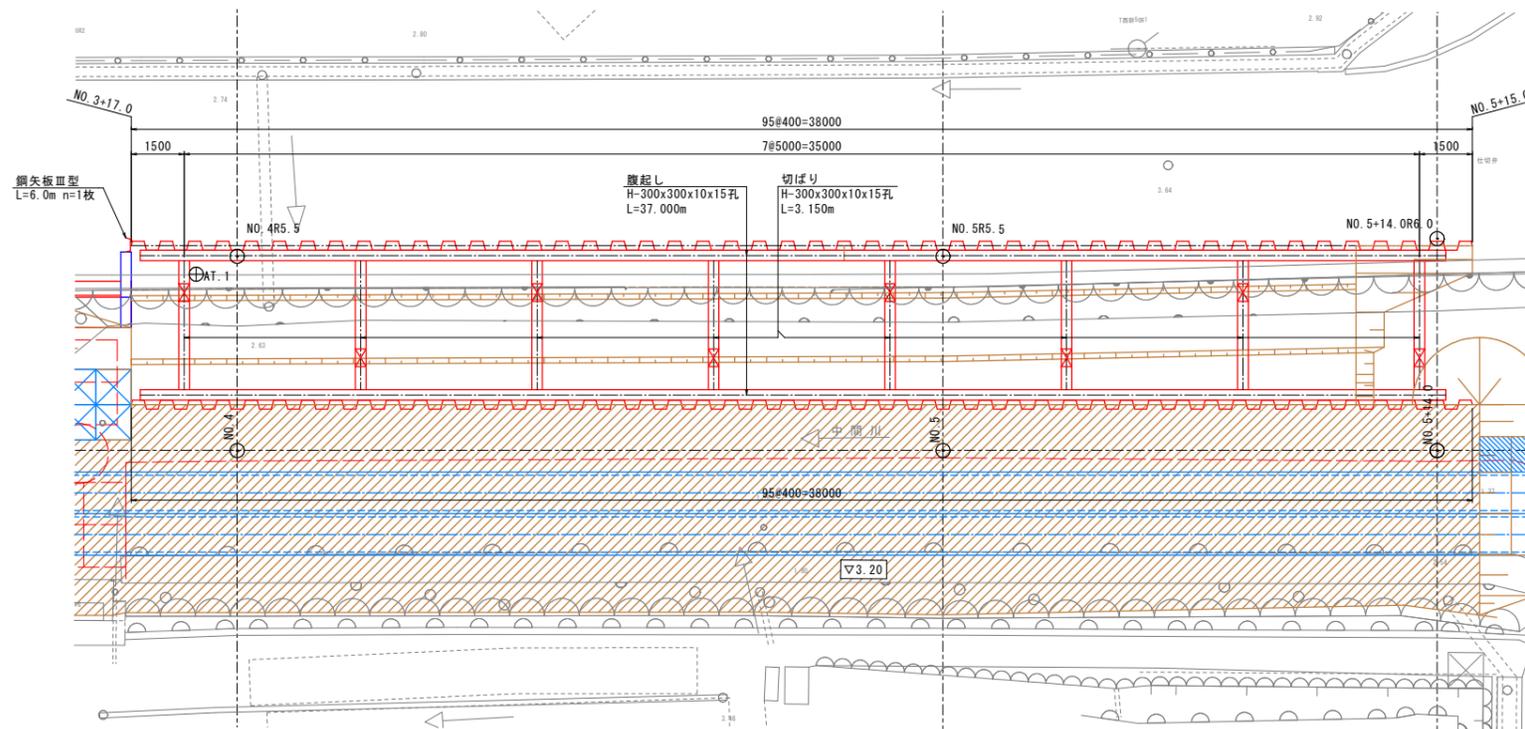
(参考図)

図面番号	第 2 枚内 1 号
図面名称	準用河川中間川改良工事(上流工区) ブロック積擁壁展開図
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	

断面図



平面図



鋼材質量表

名称	寸法	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	数量 (本)	全体重量 (kg)	摘要
鋼矢板	Ⅲ型 400×125×13.0	6000	60.0	191	68760	(リース材)
合計					68670 kg	
腹起し	H-300×300×10×15孔	37000	100.0	2	7400	(リース材)
切ばり	H-300×300×10×15孔	3150	100.0	8	2520	(リース材)
合計					9920 kg	
種別集計						
鋼矢板	Ⅲ型 400×125×13.0				68670 kg	(リース材)
腹起し	H-300×300×10×15孔				7400 kg	(リース材)
切ばり	H-300×300×10×15孔				2520 kg	(リース材)
副部材(A)	9920×0.22				2182 kg	
副部材(B)	9920×0.04				397 kg	

注記)

- 鋼矢板は油圧圧入引抜きにて設置・撤去すること。
- 天端コンクリートとガードレール基礎は、河川内盛土、仮排水管、鋼矢板、支保工材を撤去後に施工・設置すること。
- 鋼矢板を引抜く時はゆっくり慎重に行うこと。
- 鋼矢板を引抜きによる、護岸工のひび割れ、空隙等に留意すること。
- ひび割れ、空隙が生じた場合は、補修や中詰土等により対応すること。

(参考図)

図面番号	第 2 枚内 2 号
図面名称	準用河川中間川改良工事(上流工区)土留工図
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部都市整備課	